

令和8年 夏の熱中症等対策声かけ期間(7月1日から9月30日まで) スローガン 【いのちをうばう、夏のひとり作業】

- 県内では毎年20名を超える方が、農作業中の熱中症により救急搬送。
- 7月、8月は特に注意が必要！体が暑さに慣れていない初夏も要注意！

県内の農作業中の熱中症救急搬送状況

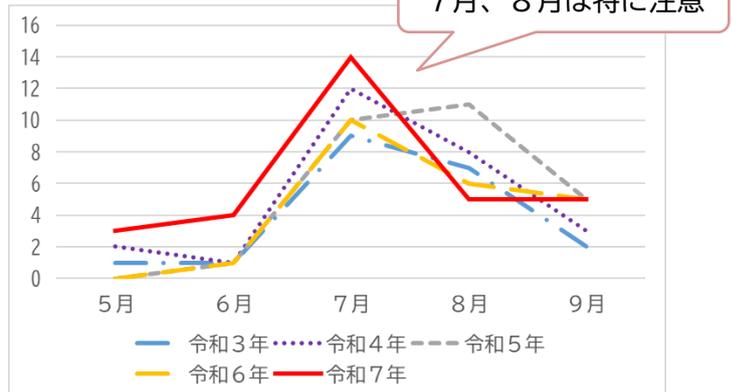
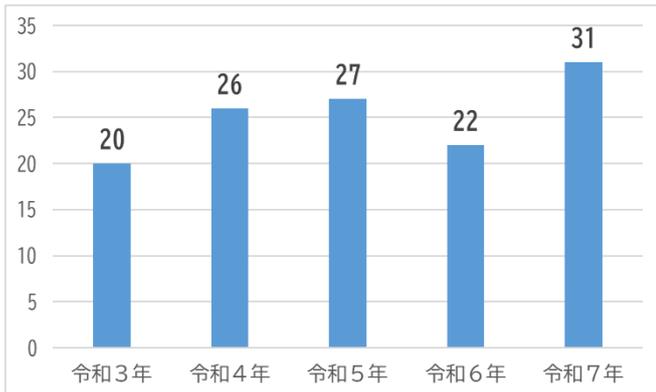


図1. 年別の熱中症救急搬送人員数 (単位: 人)

図2. 月別の熱中症搬送人員数 (単位: 人)

※出典: 宮城県消防課 宮城県内における熱中症による救急搬送状況 仕事場(農畜産)を基に作成

事例① 8月・80代・死亡・仙南地域

猛暑の中、朝から畑で農作業をしており、昼過ぎに家族が確認しに行ったところ、畑で倒れているのを発見した。救急搬送されたが、その後、病院で死亡が確認された。

事例② 5月・70代・救急搬送・仙南地域

野菜苗の植え付け準備中に具合が悪くなった。自宅で休憩をして作業に戻ろうとしたところ、玄関先で倒れ、家族が救急要請した。体温が高く、熱中症と診断された。

熱中症の危険性、理解していますか？



※出典: 農林水産省 令和7年度熱中症対策研修テキスト 3頁

- 熱中症の症状が進行すると、死亡することもあるほか、脳にダメージを与え、長期にわたり後遺症が残る可能性もあります。
- 後遺症を残さないためには、熱中症の予防・対策が重要です。熱中症かなと思ったときは、すぐに応急処置を行いましょう！

農作業前の熱中症対策

✓暑熱順化

暑熱順化とは、体が暑さに慣れること。
ストレッチやウォーキング、お風呂などで
少しずつ暑さに慣れましょう！



✓プレクーリング

農作業中の体温上昇を抑制するために、
作業を始める直前に身体を冷やしましょう！
冷たい飲み物や冷やしたタオルが効果的！



農作業中の熱中症対策

✓こまめな休憩と水分・塩分補給

20分おきに休憩し、のどが渇いていなくても
毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給をしましょう！
微細な氷の粒が入ったアイスラリーや経口補水液がおすすめ！



✓単独作業は避ける

熱中症になってしまった際、早期発見・
対処が大切。単独で作業する場合も、
家族や従業員が定期的に確認しましょう！



✓熱中症対策アイテムの活用

ファン付きウェアやネッククーラー等を活用。
ファン付きウェアは、濡らしたインナーを
内側に着用すると効果的！



熱中症警戒アラートを受け取りましょう！

環境省 LINE アカウントから
宮城県の熱中症警戒アラートの情報を受け取ることができます。



二次元コードから
LINE の登録が
できます。

令和7年6月1日より労働者への熱中症対策が義務化されました。

労働安全衛生規則の一部改正により、労働者を雇用する農業者や農業法人は、熱中症があった際に対応できるよう「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」を行い、その内容を関係作業者に周知することが義務付けられました。
具体的な対応としては、対応フローや緊急連絡先等の必要事項を記載した「張り紙」を事務所等に掲示することが有効です。詳細は以下、宮城県HPを御覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/nousagyoujiko.html>

